#### TOPPERS 活用アイデア・アプリケーション開発 コンテスト

部門: アプリケーション開発部門

作品のタイトル : TOPPERS ASP を使用した Azure IoT アプリ

作成者 : 手塚湧太郎

共同作業者 : 本田晋也, 長島宏明

対象者 : TOPPERS OS を用いて Azure IoT アプリ開発をお考えの方

使用する開発成果物 : TOPPERS ASP カーネル

#### 目的・狙い

組込みシステムにおいて、IoT 技術が注目されている。IoT を活用するプラットフォームの 1 つとして「 $Azure\ IoT$ 」が注目されており、 $Azure\ IoT$  活用したアプリケーション開発を通し、 $TOPPERS\ OS$  を用いた IoT アプリケーション開発のさらなる可能性を示すことを狙いとしている。

#### アイデア/アプリケーションの概要

本アプリケーションは、Wio Terminal を用いて、ZUMO による走行制御を行うとともに、その走行データの一部を Azure IoT 上に蓄積するアプリである。走行モードやデータ送信モードの管理を TOPPERS ASP によって実行している。TOPPERS OS による Azure IoT アプリケーション開発手法について示すことができた。

### アプリケーションの概要

- 方眼上のコースをコマンドに従い走行し、 データをAzureに送信するロボット
  - リアルタイムOS
    - TOPPERS ASP3
  - メインタスク
    - 各setup
    - 走行コマンドの受け取り
    - 走行モードと送信モードを管理
  - 機能1(走行モード)
    - Zumoの走行を管理
    - コマンドを受け取り、ライン上を走行する
  - 機能2(送信モード)
    - Azure IoT Hubを利用しZumoセンサーデータをクラウドへ送信
    - ジャイロセンサーのデータを送信する



## 使用環境

- 以下のサイトを参考にAzure環境を用意した
  - https://matsujirushi.hatenablog.jp/entry/2020/0 8/10/222132
- Azureサブスクリプション
- Azure Portalから以下を作成
  - Azure IoT
  - Azure IoT Hub
- Azure IoT Explorer
  - メッセージ確認用に使用



# 動作環境

- Arduino Arduino IDE
  - 組込みシステムのプログラミング環境とボードコンピュータ Wio terminal
  - C++に近い言語でプログラミング
- Wio terminal
  - Arduino互換のマイクロコントローラ
  - 5方向スイッチ
  - WiFi接続
- ZUMO
  - 各種センサーを搭載した移動ロボット
    - LED
    - ・ 加速度センサ
    - ・ジャイロセンサ
    - 電子コンパス
  - Arduinoにより制御
    - ・ プログラムにより
    - モータの制御
    - センサの読み込み

Arduino



**ZUMO** 



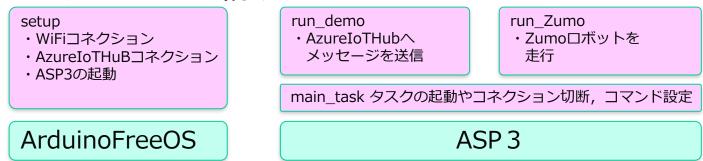


## アプリケーション構築

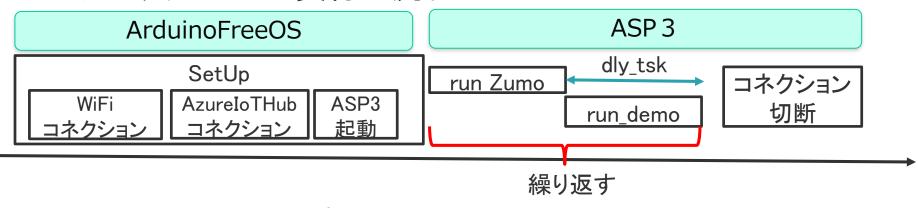
- 構築のためダウンロードしたもの
  - Wio TerminalのAzure IoT 接続サンプル
    - https://github.com/Azure/azure-iot-arduino
  - Wio TerminalのTOPPERS/ASP3サンプル
    - https://github.com/exshonda/Arduino\_TOPPERS\_ASP
  - Wio TerminalのZUMO管理ライブラリ
- アプリケーション開発
  - TOPPER ASP3サンプルに作成したrun\_zumo関数と Azureサンプルのrun\_demo関数をタスクとして登録
    - run\_zumo: ZUMOによる走行を実行する関数
    - run\_demo: Azure IoTにメッセージを送信する関数
  - メモリ不足やタスクIDの割り当て方、タスクルーチン開始のタイミングなどに 注意した

# アプリケーション構成

• アプリケーション構成



アプリケーション実行の流れ



今回使用したサンプルではWiFiコネクションの確立はArduinoFreeOS を使用する必要があるため、確立してからASP3によるタスクルーチンを開始するようにした

#### 動作手順

- Aruino IDEにライブラリを追加
  - ライブラリの管理で、下記を検索してインストール
    - Seeed\_Arduino\_rpcWiFi(Ver.1.0.4)
    - Seeed\_Arduino\_rpcUnified(Ver.2.1.3)
    - Seeed\_Arduino\_FS(Ver.2.0.3)
    - Seeed\_Arduino\_SFUD(Ver.2.0.1)
    - Seeed\_Arduino\_mbedtls(Ver.3.0.1)
    - AzureIoTHub (Ver.1.6.0)
    - AzureIoTUtility(Ver.1.6.1)
    - AzureIoTProtocol\_MQTT(Ver.1.6.0)
    - AzureIoTProtocol\_HTTP (Ver.1.6.0)
  - zip形式のライブラリをインクルードからインストール
    - TOPPERS\_ASP
    - TOPPERS\_ASP\_FreeRTOS\_API
    - ZumoShieldN
    - library.zipに添付



#### 動作手順

- ビルドオプションの変更
  - platform.txtを書き換える
  - 従来のアプリの場合は以下にある
    - C:\(\frac{\text{Yourusername}}{\text{AppData}\(\frac{\text{Local}}{\text{Arduino15\(\frac{\text{Ypackages}}{\text{AppData}\(\frac{\text{Vpackages}}{\text{AppData}\(\frac{\text{AppData}}{\text{AppData}}\(\frac{\text{AppData}}{\text{AppData}\(\frac{\text{AppData}}{\text{AppData}}\(\frac{\text{AppData}}{\text{AppData}\(\frac
  - compiler.cpp.extra\_flags=に以下のオプション指定
    - -DONT\_USE\_UPLOADTOBLOB

#### 動作手順

#### WiFiの設定

- ファイルを開くからTOPPERS\_ASP\_and\_Azure.inoを開く
- タブをiot\_config.hに切り換え
- 下記の部分を使用する環境に合わせて、変更
- DEVICE\_CONNECTION\_STRINGをAzure IoTから取得した接続文字
   列に変更

マイコンボードに書き込みで実行開始



## デモ動画

#### Azure IoT Explorerでのメッセージ •

```
Tue Jun 22 2021 18:36:37 GMT+0900 (日本標準時):
  "enqueuedTime": "Tue Jun 22 2021 18:36:37 GMT+0900 (日本標準時)"
Tue Jun 22 2021 18:36:27 GMT+0900 (日本標準時)
 "body": -87,
  "enqueuedTime": "Tue Jun 22 2021 18:36:27 GMT+0900 (日本標準時)"
Tue Jun 22 2021 18:36:14 GMT+0900 (日本標準時)
  "enqueuedTime": "Tue Jun 22 2021 18:36:14 GMT+0900 (日本標準時)"
Tue Jun 22 2021 18:36:02 GMT+0900 (日本標準時)
  "enqueuedTime": "Tue Jun 22 2021 18:36:02 GMT+0900 (日本標準時)"
Tue Jun 22 2021 18:35:52 GMT+0900 (日本標進時):
 "body": 92,
  "enqueuedTime": "Tue Jun 22 2021 18:35:52 GMT+0900 (日本標準時)"
Tue Jun 22 2021 18:35:40 GMT+0900 (日本標準時)
Tue Jun 22 2021 18:35:28 GMT+0900 (日本標進時)
  "enqueuedTime": "Tue Jun 22 2021 18:35:28 GMT+0900 (日本標準時)"
Tue Jun 22 2021 18:35:16 GMT+0900 (日本標準時):
  "enqueuedTime": "Tue Jun 22 2021 18:35:16 GMT+0900 (日本標準時)"
```

#### 走行の様子

- https://www.dropbox.com/s/fdya3 kb4g2ioota/iOS%20%E3%81%AE%E7 %94%BB%E5%83%8F.MOV?dl=0

センサー 値	入力 コマンド
0	F
-86	R
-3	L
92	L
88	F
0	R
-87	R
-93	F